

救急救命講習会を行いました

7月26日(水)、小千谷消防署救急隊員2名をお迎えし、救急救命講習会を多目的教室で行いました。

運動部の選手及びマネージャーと消防、警察、医療系の進路希望者、合計28人の生徒が参加しました。

はじめに、救命処置の目的と事故者発見時からの対応を説明するビデオを視聴し、続いて、隊員が事故者と救護者の役になって行う実演を見て、救急救命の概要を理解しました。

次に、心肺蘇生法訓練用人形を使った心臓マッサージの練習、AEDトレーニング機を使った操作方法の練習を繰り返し行った後、事故者を発見したところから救急車が到着するまでの動き(助けを求める → 気道確保 → 呼吸の確認 → 心臓マッサージ → 人工呼吸 → 心肺蘇生法を続ける → AED)を練習しました。

最後に、7人のグループで事故を想定した訓練を行いました。事故発見者は、協力者に119番通報とAEDを持ってくることを依頼し、声を掛けながら心臓マッサージやAEDの操作を行い、周りに居た人は何ができるかを考えて動きました。隊員からは、「実際の現場では事故者の荷物をまとめてくれたり救急車を誘導してくれる人がいると助かる」などのアドバイスをいただきました。この他、異物除去法と止血法についての説明を受けました。

3時間の講習の参加者全員に後日「修了証」が授与されます。生徒から「自分にもできることがたくさんあるのだと改めて知ることができた。行動することで一つの命が助かることを常に意識し、具合が悪い人や苦しむ人を発見したときには声を掛け、積極的に行動していきたい。」などの感想がありました。



